

法人委員の方は、人数に制限なく出席できます。
個人委員・特別委員の方は、本人または代理の方（1名）が出席できます。
フェロー委員の方は本人のみが出席できます。

【会告】「2008年11月(11月21日(金)開催) 研究例会 内容」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

10月30日(木)から11月4日(火)まで「第24回 日本国際工作機械見本市(略称: JIMTOF2008)」が東京ビッグサイトで、全部の展示場を利用するという大規模な内容で、開催されます。

この展示会での出展機械や技術傾向などを簡単には紹介できませんが、本研究例会では、その一分野を位置し、もっとも尖端的な技術を基板とする超精密工作機械を主テーマに取り上げました。JIMTOF2008修了後、間もない時点で、関係企業は、出展物に対する見学者などへの対応のために、多忙と拝察される中、2社から、当該超精密工作機械について、多角的に説明していただくことになりました。

超精密加工機械は、もっとも高度は技術的成果の集合体として、多くの興味深い内容に接することができると思われます。

11月研究例会は、ケーエスエス(株)の大橋康二氏のご尽力で企画されました。

多くのみなさまの出席を期待します。

1. 日時：2008年11月21日(金) 13:00～15:20

2. 主題：「超精密加工機械」

3. 講演題目：

(1)13:00～14:00「超精密自由曲面加工機の設計と加工事例の紹介」

株式会社ジェイテクト 研究開発センター

加工システム研究部 加工技術研究室 主担当 平野 稔 氏

【講演概要】 滑らかな表面と複雑な形状が要求される光学部品を加工するには、分解能と応答性に優れた同時多軸制御が可能な超精密加工機が必要である。超精密自由曲面加工機の設計ポイントと、本機を用いた加工事例を紹介する。

HP <http://www.jtekt.co.jp>

(2)14:20～15:20「最新の超精密加工機とそれを支える技術」

東芝機械株式会社 精密機器事業部 精密機器技術部 主幹 内村 浩 氏

【講演概要】 1980年代から応用され始めた日本の超精密加工は、金属ミラー、磁気ディスク基板のダイヤモンド旋削等から始まり、現在のレンズ金型、FPD金型にいたっている。東芝機械の最新の超精密加工機の紹介と共に、それを支える技術、加工事例を紹介する。

HP <http://www.toshiba-machine.co.jp>

4. 場所：中央大学 理工学部 6号館 3階 (6326号室)
 〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
 (大隅研究室連絡先) Tel: 03-3817-1824, Fax: 03-3817-1820

◆◆ [下図参照] ◆◆

- 【交通】 東京メトロ・丸の内線，南北線「後樂園」駅下車徒歩3分，
 都営地下鉄・大江戸線，三田線「春日」下車徒歩5分，
 JR中央線「水道橋」駅下車徒歩15分

5. 出欠連絡先：
 2008年11月14日(金)までに，添付の出席連絡票
 に所定事項をご記入の上FAXしていただくか，
 E-mailにてご連絡をお願い致します。

E-mail：事務局補佐 岩佐礼子
 (E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp)
 FAX：0537-22-1892

6. 11月研究例会問合せ先：
 ケーエスエス株式会社 大橋康二
 E-mail: YASUJIOO@aol.com
 Tel/Fax：0538-34-4695
 緊急連絡先：090-3082-6639(携帯)

**会場は
 中央大学理工学部 6号館
 3階 6326号室**



(右図：中央大学理工学部と6号館の案内図)
http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.ht

